





研究者名※	鈴木礼子 すずき れいこ	学位※	博士(医学)
所属※	家政学部 食物学科	職名※	准教授
連絡先	suzukir@fc.jwu.ac.jp		
URL	http://www2.jwu.ac.jp/kgr/jpn/ResearcherInformation/ResearcherInformation.aspx?KYCD=00012739		
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/0055007330">https://researchmap.jp/0055007330</a>		
研究分野※	医歯薬学・社会医学/自然人類学		
研究キーワード※	疫学・予防医学・健康増進 /行動・認知		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>東ユーラシア東辺における古代食の多角的視点による解明とその栄養価からみた疾病 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 2020年4月 - 2025年3月(分担)</li> <li>古代食の総合的復元による食生活と疾病の関係解明 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 2017年4月 - 2020年3月(分担)</li> <li>総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 2015年 - 2017年</li> <li>ライフステージを通じた体重と女性乳がんとの関連に関する研究 (分担) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2012年4月 - 2016年3月</li> <li>食・栄養・ホルモン等の生活習慣と女性がん罹患の関連 ; がんの特性や人種を考慮して 日本学術振興会 科学研究費助成事業 特別研究員奨励費 2011年 - 2012年</li> </ul>		
社会貢献・産学官連携活動等	がん予防情報提供活動・AYA世代がん患者支援レモネードスタンド活動・地域食育活動 など		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベストポスター賞 16th World Congress on Nutrition and Food Chemistry 2017</li> <li>・教育表彰(H27・教育研究活動分野 東京医療保健大学理事長表彰) 2016</li> </ul>		

研究領域	医歯薬学・社会医学	(SDGs)	 
研究テーマ※	AYA世代のがん患者の栄養の課題とニーズ		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>AYA世代とは“adolescents and young adults”の略で、思春期・若年成人(15-30または39歳)のことをいう。AYA世代のがんは成長の過程で発症し、診療中にライフステージが移行し、小児期と成人期の両方の幅広い年齢層が含まれる。乳腺、大腸、胃、子宮頸部がんなどの癌腫から、骨・軟部組織(脂肪・筋肉・神経など)由来の肉腫まで特徴的な希少がんも含まれ、治療内容や予後も含め、患者ががん体験はさまざまである。</p> <p>AYA世代のがん患者は、中学生から社会人、子育て世代まで、幅広いライフステージが含まれ、生活が大きく変化する年代である。その多様性のため、支援が難しい状況である。</p> <p>食・栄養の支援を考える上で、AYA世代がん患者特有の課題を抽出し、ニーズや支援策を検討するために、療養環境の困りごとについて、横断調査を実施した。</p> <p>【結果】AYA世代のがん患者で、治療中とがん経験者を含めた入院経験がある方(15-39歳)を対象に入院中の病棟環境の困りごとを調べた結果、全体では 1位は食事 2位は、同世代の人がいない 3位はWeb環境であった。特に、困りごととして、食事をあげた者の割合を年齢別で見ると、若い世代ほど多い状況であった。</p> <p>AYA世代のがん患者のQOL向上には「食事」が大切な要素である。しかし、AYA世代は幅広いライフステージが含まれ、年代や治療状況により、抱えている食や栄養面の課題は異なる。</p> <p>症状緩和のための栄養支援を含め、さらに、長期的な視野に立ち、がん経験者としてこれからの人生・生活があることを意識しながら、自立した社会生活を促すために、食・栄養にかかわる管理能力を育む健康・栄養教育を含めた、多職種と連携した支援体制が必要である。(臨床栄養2020:vol137(6)826-831)</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床栄養2020:vol137(6)826-831</li> <li>・厚生労働科学研究費補助金「総合的な思春期・若年成人AYA世代のがん対策のあり方に関する研究」H27-29</li> </ul>		
共同研究・外部機関との連携への期待	共同研究 東京大学 独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 他		